

ちびっこ チャンピオン

「誕生会に忍者遊びをしたよ」

柳田保育園のなかよしたち

(左上から)

ますや りっかさん (6さい)
やまもと ららんさん (6さい)
とみの あすなさん (6さい)
こがわ つむぎさん (5さい)

(左下から)

いそべ おうすけくん (6さい)
かわぐち はるとくん (6さい)
さとう がくくん (6さい)
ふじた さくとくん (6さい)
かねひら りあくくん (6さい)
しまむら ゆうとくん (6さい)



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。



このコーナーでは誕生日を迎えたちびっこ達をご紹介します



佐藤 空輝くん

(岩崎下) R2/1/2生
「憧れの仮面ライダーみたいに強くなってね」

草創教育長の 「今月の一枚」

新年の祈り



新年なので、おめでたいお祈りの歌から。

新しき年の始めの初春の
けふ降る雪のいや重け吉事よこごと

降る雪のように今年が良いことがたくさん積もり重なりますように、という意味。大伴家持の万葉集の歌です。

私も年末から正月にかけて、たくさんの方で掌を合わせて祈っています。

まず大みそかの朝、息子らと男衆三人で裏山へ向かいます。袋の中にはお神酒と鏡もち、雪をかき分けて馬頭観音様のお堂へお稲荷様のお堂へ庚申塚と廻り、お供えをしてロウソクに灯をつけ合掌して祈ります。帰りは、正月飾り用に、枝ぶりのいい松や笹があれば切ってきます。この一連の作業を、わが家では「山さ正月迎えに行く」と呼んで、何代も続く伝統行事になっています。

山から帰ると、次は菩提寺に向かい、阿弥陀様へお地藏様へご先祖様の順でまたひと祈り。

帰ってようやくお昼。愚妻の力作、年越しのごちそうが並んだお膳を仏間に運び、仏壇と神棚に掌を合わせます。

年が明けて、天気さえよければ家族そろって神社に初詣、拍手を打ってまた祈ります。

祈る回数を数えると二日間で約十回。実にたくさんのお神仏を対象に拝んでいます。

その割に、祈る内容はほぼ同じ、平々凡々です。家族の健康、息子らの正直な暮らし、ついでに自分のささやかな野心なんかもブツブツつぶやいたりします。

叶うかどうかはどうでもいい。崇高な存在に向かつてこうべを垂れる自分の中にある前向きな願いを確かめる。そしてそれを明確な言葉に変換して意識させる。そのこと自体に意義があるのだと思います。

その言葉を胸に、人様に迷惑かけない程度に、家族や自分の幸せのために汗を流せたらと思います。

終わりは、また雪で締めます。

欲深き人の心と降る雪は
積もるにつれて道を失う

幕末の三舟の一人、高橋泥舟の名言です。うまい、座ぶとん一枚！と拍手したくなりますね。

欲望が過ぎると人の道を見失います。

祈りはささやかに、努力は盛大に。
(教育長 草創 文人)

深浦町の花



■ 福寿草 ■

深浦町の木



■ 樺 ■

深浦町の鳥



■ カモメ ■